

あまみず グリーンインフラ



CONCEPT BOOK ver.2



あまみずグリーンインフラ CONCEPT BOOK ver.2

■発行日 令和8（2026）年3月

■編集・発行 東京都都市整備局



東京都都市整備局



あまみず グリーンインフラ

CONCEPT BOOK ver. 2

CONTENTS

はじめに	．．． 1
1 あまみずグリーンインフラとは	．．． 2
2 雨水を「しみこませる」まちづくり	．．． 4
3 東京都の取組	．．． 6
4 あまみずグリーンインフラの特徴	．．． 12
5 あまみずグリーンインフラの効果・評価の確認	．．． 20
for KIDz キッズページ	．．． 28
6 あまみずグリーンインフラの事例	．．． 32
7 あまみずグリーンインフラ検討委員会	．．． 78



INTRODUCTION

はじめに

東京都では、近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化する豪雨災害に対応するため、令和5年12月に「東京都豪雨対策基本方針」を改定しました。本方針では、豪雨対策として、河川や下水道整備に加えて、流域対策や家づくり・まちづくり対策を位置づけ、その中で「グリーンインフラ」の導入を図ることとしています。

グリーンインフラとは、自然環境が有する機能を社会課題の解決に活用しようとする考え方であり、緑地やレインガーデン（雨庭）を整備することは、景観の向上や生物多様性の保全等の日常の豊かさだけではなく、雨水流出抑制に資する取組であることから防災機能の強化にもつながります。東京都では、グリーンインフラのうち、自然の機能を活用することで雨水の流出抑制に活用する取組を「あまみずグリーンインフラ」として、取組を展開しています。

グリーンインフラを含めた流域対策の推進には、行政だけでなく、都民の皆様方の協力が必要不可欠です。本コンセプトブックでは、グリーンインフラの役割や機能、事例について紹介します。

※本コンセプトブックは、令和6年度に作成した「あまみずグリーンインフラ CONCEPT BOOK」を、これまでの取組や知見を踏まえて更新したものです。



東京都都市整備局



1 あまみずグリーンインフラとは

雨水の流出を抑制するグリーンインフラ

「あまみずグリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能を活かして雨水の流出を抑制するグリーンインフラです。

一時的に貯めたり、しみこませることで、雨が下水道や河川に急激に流入することを防ぎ、これにより水害発生の防止に寄与するものとして、東京都が普及を行っている取組です。



■ グリーンインフラ



自然の多様な機能を活用した社会資本であり、将来にわたり持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくり及びウェルビーイング向上に貢献するもの。

これは、人と自然の関わりから形成されるものであり、戦略的な計画、持続的な維持管理、幅広いステークホルダーの参画などを通じてより大きな効果の発現が期待できる。

出典：国土交通省





2 雨水を「しみこませる」まちづくり

雨水を「しみこませる」まちづくり

東京都では「あまみずグリーンインフラ」を拡げて、雨水を「しみこませる」まちづくりを目指しています。

雨水を「しみこませる」まちづくりは、河川や下水道の負荷を減らし、暑熱緩和や良好な景観の形成などの様々な効果も期待でき、自然と調和した持続可能な都市の実現につながります。

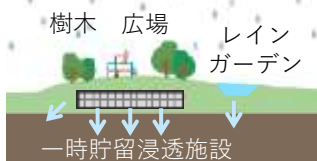
下水道などの
負担軽減に
つながるんだ。



樹林地や緑地



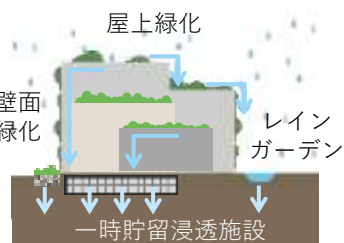
樹林地、農地など



公園



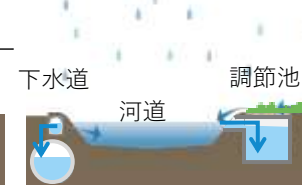
道路



開発



住宅



河川、下水道

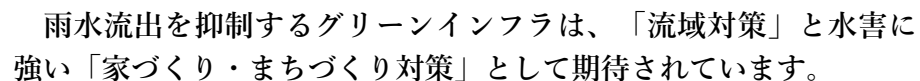


近年、気候変動の影響により豪雨が激甚化、頻発化しています。

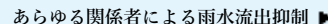
東京都は基本方針を改定し、今後の気候変動に伴う降雨量の増加に対応するため、目標降雨を都内全域で時間10mm引き上げました。



その施策として、目標降雨までは「河川・下水道整備」及び「流域対策」により浸水被害の防止を図ること。そして、目標を超える降雨に対しては、「家づくり・まちづくり対策」及び「避難方策」にて、もしもに備えることとしています。

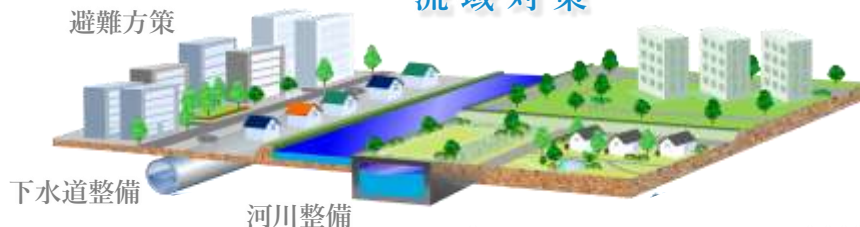
雨水の流出を抑える
「流域対策」

- あらゆる関係者による雨水流出抑制の取組への支援充実
- 流域対策の協働を促す広報強化など



流域対策

避難方策



家づくり・まちづくり対策

水害に強い
「家づくり・まちづくり対策」

- ・ 高台まちづくり、グリーンインフラ等の水害に強いまちづくりの推進
- ・ 地下街における行政と管理者間の連携強化、避難訓練等の水害対策の推進など



雨に強いまちづくりをいろいろな手段で進めているんだよ。





3 東京都の取組

東京グリーンビズ



東京グリーンビズHP

東京グリーンビズは、「自然と調和した持続可能な都市」を目指し、都民や企業の皆様など様々な方々とともに、東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を進める、100年先を見据えた緑のプロジェクトです。



出典：東京都の緑の取組 Ver.3



自然が有する機能を活用する グリーンインフラの導入

自然が有する機能を、豪雨や猛暑など激甚化・頻発化する自然災害への対応、生物多様性の保全・回復や都市の快適性の向上など、様々な社会課題の解決に活用するため、都有施設や民間施設等でのグリーンインフラの導入が求められています。



グリーンインフラ産業展2026

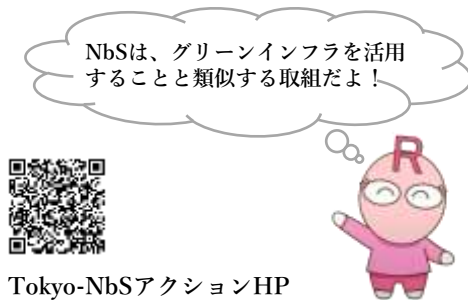
Tokyo-NbS アクション



東京都は、令和5年4月に改定した東京都生物多様性地域戦略に基づき、自然を活用して社会課題を解決する取組であるNbS（Nature-based Solutions）を定着させるため、Tokyo-NbSアクションメンバーの募集、アワードの実施など、様々な取組を進めています。



第2回Tokyo-NbS
アクションアワード表彰式



Tokyo-NbSアクションHP



3 東京都の取組

雨水しみこみプロジェクト

東京都では、雨水を「しみこませる」まちづくりを進める『雨水しみこみプロジェクト』を実施しております。

市民・事業者・行政の間で様々なつながりをつくることで、プロジェクトを推進しています。



雨水しみこみプロジェクトHP

雨水しみこみアンバサダー

日々の取組を通して、雨水しみこみプロジェクトの普及啓発を行う行政・事業者・地域で活動する団体を“雨水しみこみアンバサダー”として認定しています。



東京都

- ・ ホームページ掲載
- ・ 広報動画の配信
- ・ 表彰イベント 等





アンバサダー

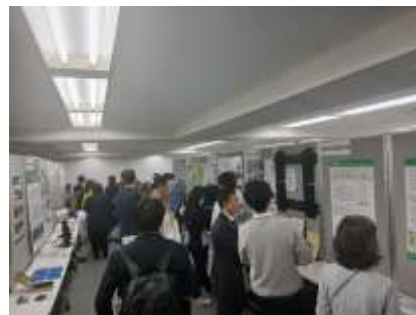
- ・ 雨水浸透ますの設置
- ・ レインガーデン等のグリーンインフラ導入
- ・ 普及啓発イベント 等

【認定事業者数：85事業者（令和8年3月時点）】

雨水しみこみアンバサダー 情報交換会

令和8年2月に雨水しみこみアンバサダーによる雨水貯留浸透施設の技術・製品やレインガーデン（雨庭）等のグリーンインフラ導入事例等の紹介・情報交換を行いました。

情報交換会では、24事業者からパネル展示及び取組内容の紹介が行われました。



あわせて、小学生による「雨水しみこみの自由研究」の紹介及び感謝状の授与を行いました。



みんなも雨水しみこみプロジェクトについて調べてみよう!!



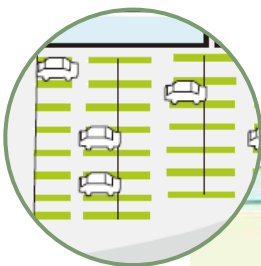


4 あまみずグリーンインフラの特徴

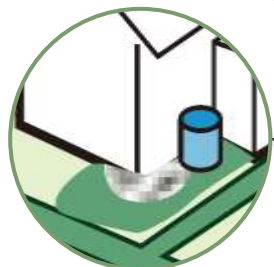
■ 様々な場所・施設で、誰でも取り組める

あまみずグリーンインフラは、個人の住宅、民間のビルや商業施設、公園や公共施設など、様々な場所で、誰でも取り組むことができます。

緑化駐車場



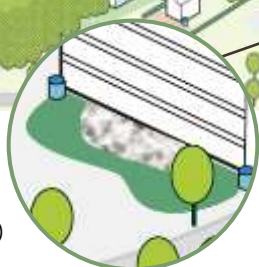
雨水浸透型花壇



誰でもグリーンインフラ
に参加できるんだね。



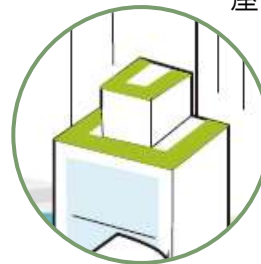
レインガーデン(雨庭)



壁面緑化



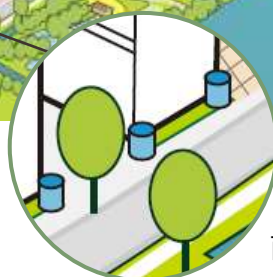
屋上緑化



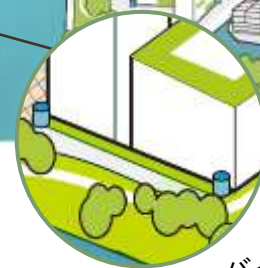
浸透貯留基盤を持つ
緑化舗装



雨水タンク



バイオスウェル(緑溝)





4 あまみずグリーンインフラの特徴

■ 主なグリーンインフラ施設

あまみずグリーンインフラでは、雨水の流れや敷地条件に応じて、様々なタイプの施設を組み合わせせて整備します。

ここでは、その代表的な施設を紹介します。

レインガーデン（雨庭）

レインガーデン（雨庭）は、敷地内に降った雨水を一時的に受け止めることを目的とした、植栽を伴う面的なグリーンインフラです。

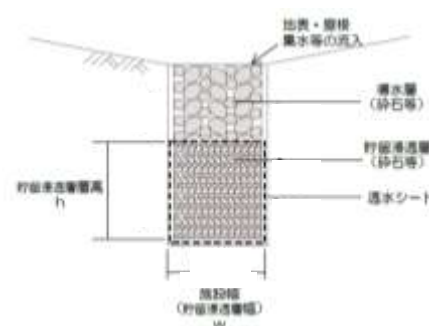
雨水が集まりやすい場所に配置されることが多く、周辺環境と調和して雨水の流出抑制を図ります。



バイオスウェル（緑溝）

バイオスウェル（緑溝）は、雨水を流下させながら受け止めることを目的とした、溝状・線状のグリーンインフラです。

道路や敷地の縁に沿って配置され、雨水の流出抑制を図ります。



雨水貯留浸透花壇



緑化舗装

(雨水貯留浸透機能を有する。)





4 あまみずグリーンインフラの特徴

■ 様々な効果が期待できる

あまみずグリーンインフラには、雨水を貯留・浸透することに加えて、暑熱緩和や生物多様性の保全、良好な景観の形成など、緑が持つ様々な効果が期待できます。

雨水をためる、しみこませる

雨水を一時的に留め、緩やかに地中に浸透させることで、下水道や河川に流れこむ雨水の量を減らし、水害の発生防止に貢献します。

また、地下水の涵養にも効果を発揮します。



暑さをやわらげる

緑地は日射を反射しやすく、表面温度が低く抑えられるため、アスファルト舗装などよりも周囲の気温の低下が期待できます。壁面緑化などにより室内の温度上昇が抑えられることも知られています。



生き物にやさしい

生物の生息・生育場となり、生態系ネットワークの形成に貢献します。ビオトープの設置や地域の在来種による植栽を行うことで、生物多様性の保全にも貢献する取組になります。



まちを美しくする

緑化により、まちの景観が改善し、豊かになり、やすらぎや潤いのあるまちにつながります。

緑には、人をリラックスさせストレスの軽減に効果があることも知られています。



地域力を高める

まちを水害から守り、美しくするあまみずグリーンインフラの導入に、市民や市民団体、企業が協力して取り組むことで、地域コミュニティの力を高めるきっかけになります。





4 あまみずグリーンインフラの特徴

■ いろいろなアレンジ・工夫を楽しめる

あまみずグリーンインフラは、場所にあわせて形を変えたり、好きな草花で飾ったり、ビオトープにしたり、様々なアレンジや工夫を楽しむことができます。

専門家に相談したり、気の合う仲間や家族で話し合い考えたりと、づくり方もいろいろ楽しむことができます。

形や材料の変化を楽しむ



大島小松川公園ではヒョウタン型
芝による色のコントラスト



高井戸公園では円形
周囲には大きな石を配置



区の公式キャラクターをモチーフ
としたデザイン（杉並区）



雨水タンクとレインガーデンの
組合せ（世田谷区）

仲間づくり・学びを楽しむ



「世田谷グリーンインフラ学校」の様子
（世田谷区）



雨庭づくり体験型ワークショップで
参加者意見を取り入れて造成（杉並区）



市民、指定管理者及び市内造園事業者
と協働で施工（八王子市）

日本古来の伝統文化を活かす



四条堀川交差点の雨庭
（京都府）



神社の枯山水を活かした雨庭
（猿田彦神社：杉並区）



5 あまみずグリーンインフラの効果・評価の確認

効果を「見える化」し、実感できる取組へ

■ 雨水をためる、しみこませる

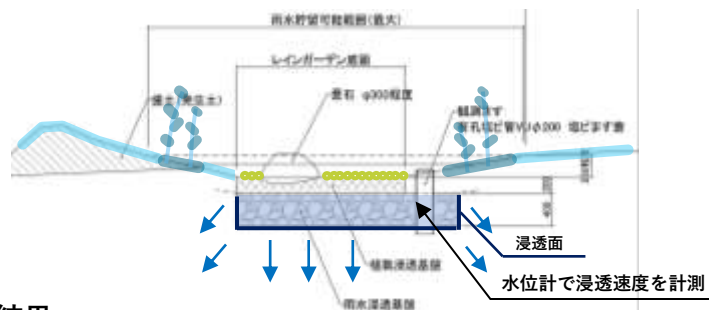
雨水貯留浸透効果

① 調査方法

レインガーデン内に水位を測る機器を設置し、自然降雨と想定した降雨の注水試験による水位の変化を測定し、雨水をどれくらい貯留し、地面に浸透させることができるのかを調査しました。



注水試験の実施状況



② 調査結果

水位変化を分析した結果、雨水浸透ます等と同等の仕様条件下では同程度の浸透性能を確認されました。

このことから、レインガーデンは、雨水をためて地面にしみこませる効果を、既存の浸透貯留施設等と同様の考え方で整備できることが分かりました。

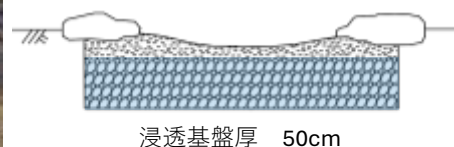
検証施設（レインガーデン）における貯留浸透量

検証施設A 面積：約9m²



貯留浸透量：約5m³

貯留量：1.6m³
浸透量：3.2m³

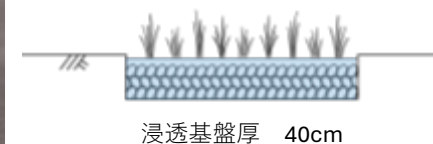


検証施設B 面積：約13m²



貯留浸透量：約5m³

貯留量：1.8m³
浸透量：3.0m³



※本結果は、各検証施設における特定条件下での測定結果であり、実際の貯留浸透性能は、設置場所の土質条件や構造仕様等により異なる場合があります。



5 あまみずグリーンインフラの効果・評価の確認

暑さをやわらげる

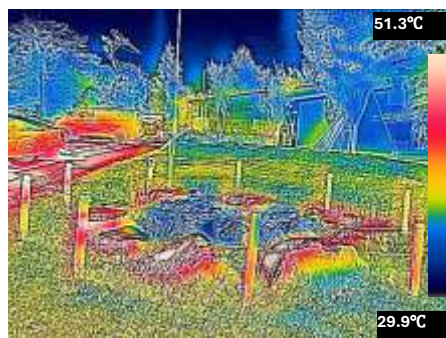
暑熱緩和効果

① 調査方法

温度上昇の緩和効果を把握するため、レインガーデンのある検証施設において熱画像（サーモ画像）の撮影及び気温・表面温度・WBGT指数（暑さ指数）の測定を実施しました。



検証施設（目視の状況）

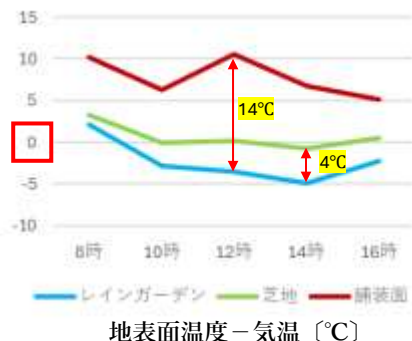


検証施設（サーモ画像）

② 調査結果

猛暑日における特定日で調査した結果、レインガーデンでは、表面温度が周囲の芝地と比べて最大で約4℃、舗装面では約14℃の温度差が確認されました。

暑熱緩和による効果としては、熱中症リスクの低減や屋外で過ごしやすい空間の創出につながります。



Column

立体的な緑化への取組

東京都では、限られた都市空間の中で緑を確保・拡充するため、建築物の屋上や壁面等を活用した立体的な緑化を推進しています。

立体的な緑化は、景観の向上に加え、雨水流出抑制や暑熱緩和などの多様な機能を有するグリーンインフラの考え方に沿ったものとして、都市開発や建築計画の中で、公開空地等の質を高める取組が進められています。



再開発での立体的な緑化事例（麻布台ヒルズ：港区）



建物上の緑化（階段状）と雨水流出抑制のイメージ



5 あまみずグリーンインフラの効果・評価の確認

グリーンインフラの実装ステップ

■ 導入検討の流れについて

あまみずグリーンインフラは、雨水の流れを意識しながら、効果が期待される場所を選び、導入していくことが重要です。

① 雨水の流れを知る〔集水域の設定（雨が集まる範囲）〕

敷地に降った雨が「どこからどこへ流れ、集まり、敷地から排水されているか」を把握します。

② 導入イメージを検討する〔期待する効果〕

雨水の流出抑止に加え、暑さ、やすらぎ、にぎわいの創出などの副次的な効果について、どのような効果を目指すか考えます。

③ 施設の種類・規格を検討する

目的に応じて、レインガーデンやバイオスウェルなど、敷地や規模に合った施設を選択します。

④ 実際に設置する

設置に当たっては、主体者だけでなく、関係者や地域住民を巻き込んで設置していきます。

⑤ 効果を見て、広める

導入後の効果を確認し、その結果を踏まえ、次の場所や地域への展開につなげていきます。

■ 戸建住宅

戸建住宅では、敷地に降った雨水をレインガーデンなどで受け止め、ゆっくり地中にしみこませる取組を進めていくことが重要です。

浸水リスクの軽減に加え、緑が増えることで暑さをやわらげ、住まいの快適性向上にもつながります。



■ 民間施設

民間施設においても、敷地内の広場、緑地及び建物周辺にレインガーデンなどを設け、雨水を貯留・浸透させる取組を進めていくことが重要です。

雨水流出の抑制による防災・減災に加え、緑のある快適で地域に開かれた魅力的な施設づくりにつながります。

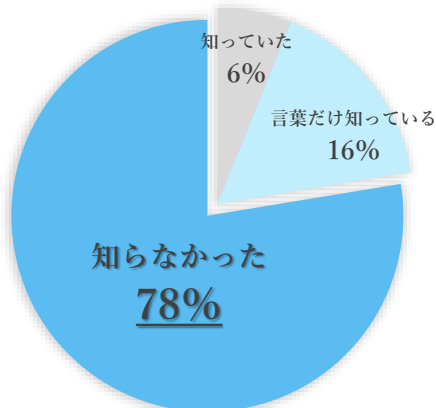




5 あまみずグリーンインフラの効果・評価の確認

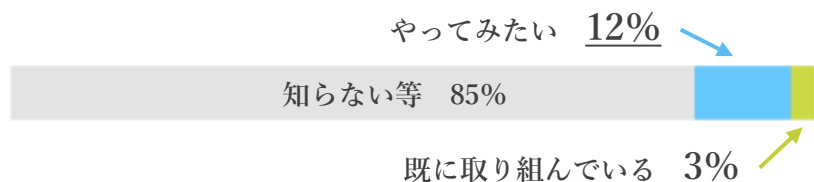
■ みんなに知ってもらうことが必要

「グリーンインフラ」という言葉を「知っている」は2割で、「知らなかった」が8割で、認知度が低く、理解促進が課題である。



■ グリーンインフラへ取組意欲の向上が必要

豪雨時の浸水被害を軽減するため、ご家庭や個人で実施できる対策として、レインガーデン（雨庭）を設けることについて



▲ WEBモニター調査

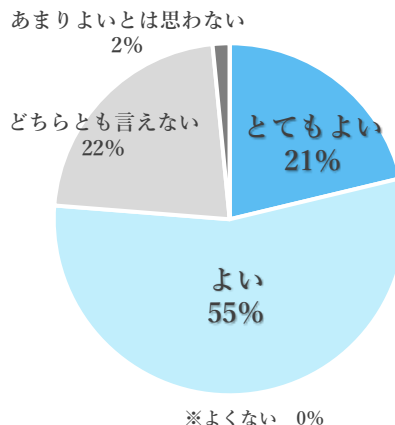
調査対象：東京都在住の18歳以上の男女
調査総数：1103サンプル
調査期間：令和8年3月

▶ アンケート調査

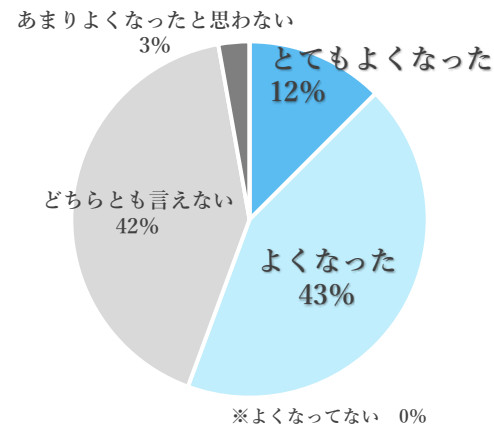
調査対象：グリーンインフラがある施設の利用者
調査総数：320サンプル
調査期間：令和7年12月～令和8年3月

■ グリーンインフラの印象及び施設全体の魅力向上

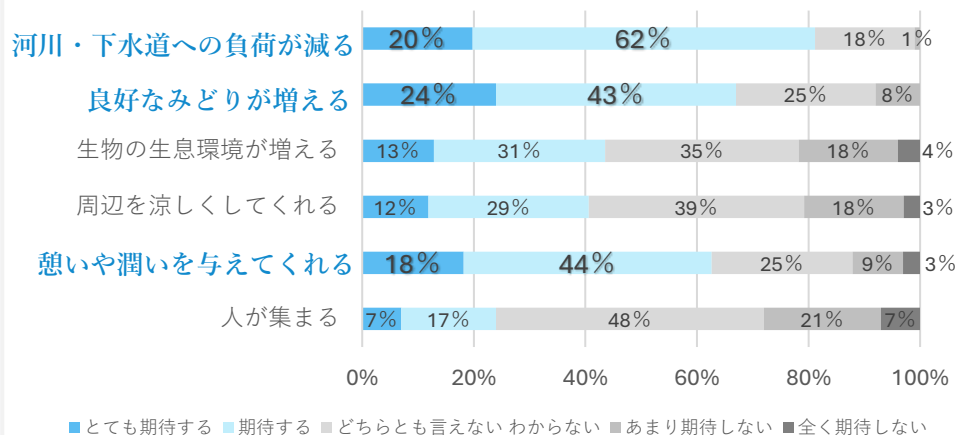
■ グリーンインフラ施設の印象



■ グリーンインフラ施設が作られたことによる施設全体の印象



■ グリーンインフラにおける効果の受け止め



あまみずしみこみプロジェクト



あまみずしみこみプロジェクト |

しみこみレンジャー

「あまみずしみこみプロジェクト」のホームページでは、しみこみレンジャーといっしょにゲームをしながら、雨への対策について学ぶことができます。

あまみずしみこみプロジェクトのPR動画

雨への具体的な対策を、しみこみレンジャーが紹介しています。



あまみずしみこみプロジェクトの「大雨対策ゲーム」

ゲームをととして雨への対策のヒントを見つけてみましょう！



しみこみレンジャーをよろしくね！



ボクの名前はグリーン。緑の力で^{すいがい}水害に強いまちをつくりたいんだ。みんなで雨をすいこむまちをつくろう！

Green Infrastructure 家・まちづくり ～グリーンインフラ～



ワタシの名前はリバー。安全な川が好きなの。
みんなで雨や川の水を安全に流せるようにしましょう。

Rivers 河川整備 ～河川～



ボクの名前はエフだよ。雨や家から出るよごれた水をスムーズに流すために安全な下水道をつくるんだ。

Effluent 下水道整備 ～排水～



ワタシの名前はエバ。災害の時はハザードマップをみて避難してね。前もって浸水する場所をチェックして！

Evacuation 避難方策 ～避難～



ボクの名前はネイバー。それぞれの地域で雨をしみこませたり、ためたりして水害からみんなを守るよ！

Neighborhood Preparedness 流域対策 ～地域の備え～

雨庭



をつくらう!!

● 保護者の方へ ●

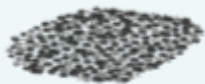
- ・子供たちの安全に配慮して、一緒にレインガーデンづくりに取り組んでください。
- ・建物や塀、電柱、水道管などの基礎から30cm以上離れた安全な場所を選んでください。

レインガーデンは、雨をゆっくりと土の中へしみこませて、
水があふれるのをふせぐものなの。地下水がゆたかになって
いろいろないきものもすみやすくなるのよ。



ようい 用意するもの

雨をしみこませるもの



さいせき かるいし はっばう
砕石、軽石、発泡ガラスレ
ットなどをまぜたもの

植物を植える土



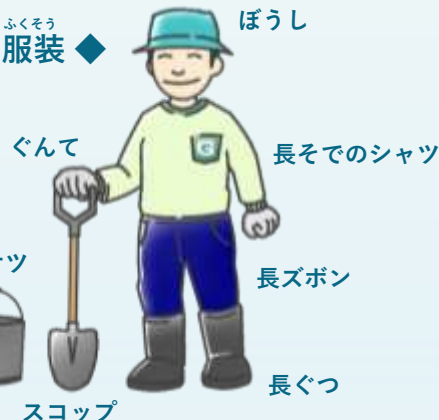
あかだまつち ようど
赤玉土、ふ葉土、マルチング
材などの土

植物とレンガ



好きな花や植物とレンガ

◆ 道具と服装 ◆



ぐんて

長そでのシャツ

長ズボン

長ぐつ

ジョウロ

バケツ

シャベル

スコップ

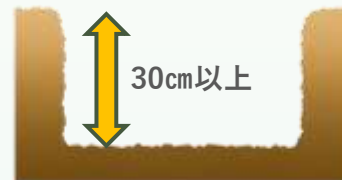
ねっちゅうしょう
熱中症やケガに気をつけて
大人のひとといっしょに
みんなで安全に楽しく
レインガーデンをつくらう!



レインガーデン

● みんなで雨庭をつくってみよう ●

① あなをほろう



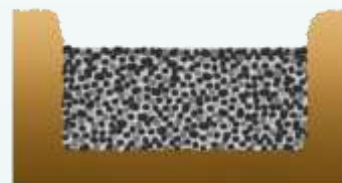
30cm以上

レインガーデンは、
しめりけのある場所や
水たまりのできる場所
がっているんだよ!

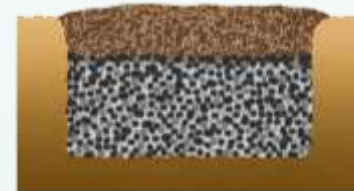


あなを30cm以上の深さでほります。
石やじゃりが出てきたらとりのぞきます。
あなの底はなるべくふまないようにします。

② 雨をしみこませるものと土を入れよう



あなに雨をしみこませるものを
15~20cmの深さに入れます。



その上に植物を植える土を
入れます。

③ あなたの好きな花や植物を植えてみよう



好きな花や植物を植えてレンガで
ふちとりましょう。

雨がふるとレインガーデンの
周りにふった雨が流れこんで
しみこんでいくのよ!



～ もっと知りたい! と思ったら読んでみよう～

「グリーンインフラって何だろう? 自然と共生する社会づくりをさぐろう」
福岡 孝則 監修 (2025年)



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

東京都では、雨水流出抑制に資するグリーンインフラ先行実施事業等によって、あまみずグリーンインフラの導入を進めています。

ここでは、東京都にて整備された事例や区市において東京都の補助活用事例や検証等で連携している、あまみずグリーンインフラの事例として、25施設（52か所）について、紹介します。

0：都施設

0：区市施設

■多摩部

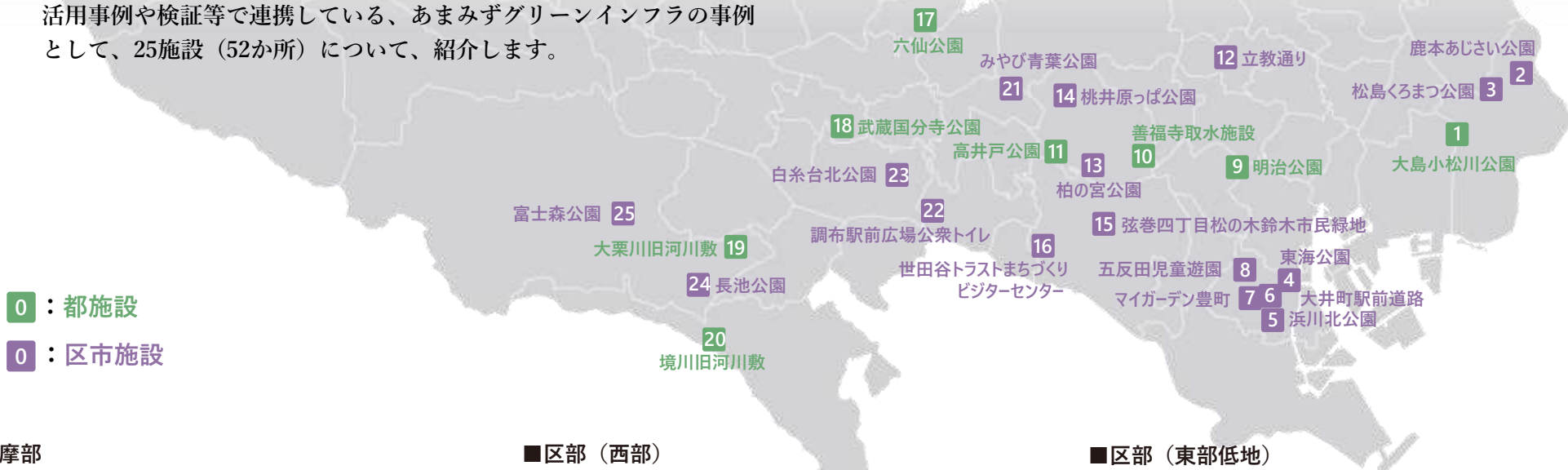
	施設名	所在地	整備主体
17	六仙公園	東久留米市	東京都
18	武蔵国分寺公園	国分寺市	〃
19	大栗川旧河川敷	八王子市	〃
20	境川旧河川敷	町田市	〃
21	みやび青葉公園	武蔵野市	武蔵野市
22	調布駅前広場公衆トイレ	調布市	調布市
23	白糸台北公園	府中市	府中市
24	長池公園	八王子市	八王子市
25	富士森公園	〃	〃

■区部（西部）

	施設名	所在地	整備主体
9	明治公園	新宿区	東京都
10	善福寺川取水施設	杉並区	〃
11	高井戸公園	〃	〃
12	立教通り	豊島区	豊島区
13	柏の宮公園	杉並区	杉並区
14	桃井原っぱ公園	〃	〃
15	弦巻四丁目松の木鈴木市民緑地	世田谷区	世田谷区
16	世田谷トラストまちづくりビクターセンター	〃	〃

■区部（東部低地）

	施設名	所在地	整備主体
1	大島小松川公園	江東区・江戸川区	東京都
2	鹿本あじさい公園	江戸川区	江戸川区
3	松島くろまつ公園	〃	〃
4	東海公園	品川区	品川区
5	浜川北公園	〃	〃
6	大井町駅西口駅前広場	〃	〃
7	マイガーデン豊町	〃	〃
8	五反田児童遊園	〃	〃





6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例 1

区部東部

都施設

大島小松川公園

管理者 東京都都市整備局
設置日 令和6年9月（※検証施設）
所在地 江東区大島九丁目地内
設置物 レインガーデン（3か所）
バイオスウェル（2か所）

RG：レインガーデン SW：バイオスウェル



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 荒川と中川に挟まれたエリアで、水害に関する住民の関心意識がとて高い地域
- ・ 公園中央の広場から周辺道路に向けた傾斜を利用して集水
- ・ 大雨時に既存側溝では受けきれない雨水を処理する効果を見込む。



- バイオスウェル -



- バイオスウェル -



- レインガーデン -



- レインガーデン -

Column

雨水活用の取組

墨田区では、雨水活用の普及啓発として「すみだ雨水活用ガイド」を公表している。

東京都東部低地のゼロメートル地帯に位置し、かつては「都市型洪水」に悩まされたことから、解決策として全国に先駆けて雨水活用に取り組んできた。



すみだ雨水活用ガイドHP

雨水活用推進イベント 「あまみずフェスティバル」の実施

墨田区では、雨水ネットワークと連携した「第14回雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ」の開催に併せ、墨田区独自の雨水活用推進イベント「あまみずフェスティバル」を実施した。

雨について楽しく学べる機会の創出により、これまで意識してこなかった人も対象に、雨水活用に関する意識醸成を行った。



出典：墨田区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例 2

区部東部

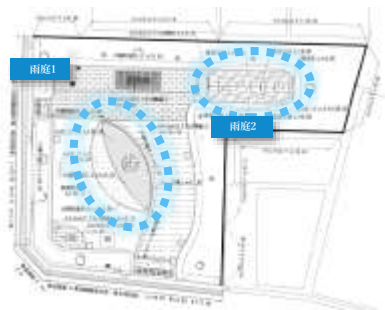
市区施設

鹿本あじさい公園

管理者 江戸川区
設置日 令和4年11月
所在地 江戸川区東松本一丁目地内
設置物 雨庭（2か所）

施設の特徴・整備の工夫

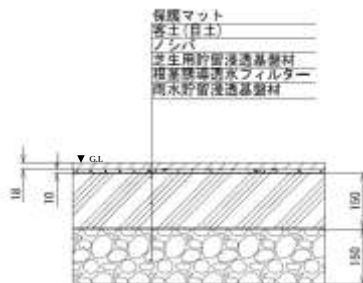
- ・ 芝生仕上げとするために芝生用浸透基盤材を使用
- ・ 説明看板を設置し公園利用者に雨庭の概要及び取組を周知
- ・ 近接する小岩第五中学校の生徒が公園の維持管理に参画



- 設置箇所 -



- 雨庭 1 -



- 断面図 -



- 雨庭施工工程 -

路床転圧 ▶ 雨水貯留浸透基盤材敷均し

出典：江戸川区提供

事例 3

区部東部

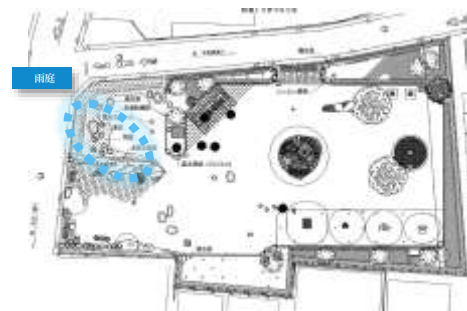
市区施設

松島くろまつ公園

管理者 江戸川区
設置日 令和5年2月
所在地 江戸川区松島三丁目地内
設置物 雨庭

施設の特徴・整備の工夫

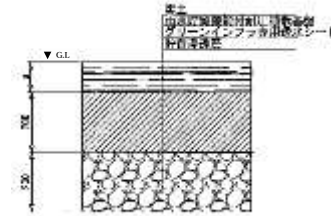
- ・ 憩いの庭の拡張整備に合わせ、雨庭を整備
- ・ 説明看板を設置し公園利用者に雨庭の概要及び取組を周知



- 設置箇所 -



- 雨庭 -



- 断面図 -

出典：江戸川区提供

Column 東部交通公園

管理者 江戸川区
設置日 令和5年10月
所在地 江戸川区江戸川二丁目地内

東部交通公園では、「ゼロ・エミッション・パーク」へのリニューアルに合わせ、雨庭を整備している。



- 雨庭 -

出典：江戸川区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

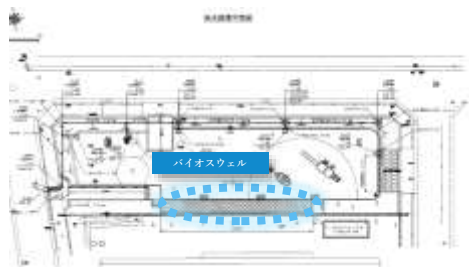
事例 4

区部東部

市区施設

東海公園

管理者 品川区
設置日 令和7年2月
所在地 品川区東品川三丁目地内
設置物 バイオスウェル



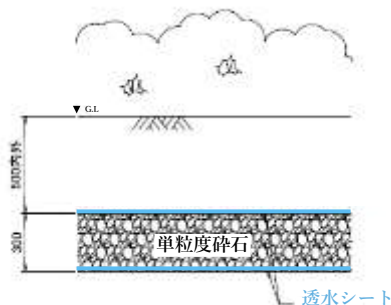
- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 公園改修に合わせ、新植で緑化する箇所にバイオスウェルを整備
- 目詰まりの防止を狙い、単粒度碎石層を巻き込む透水シート敷設時、単粒度層に土砂が入らないよう、透水シートの継ぎ目のシートを重ねて施工



- バイオスウェル -



- 断面図 -

出典：品川区提供

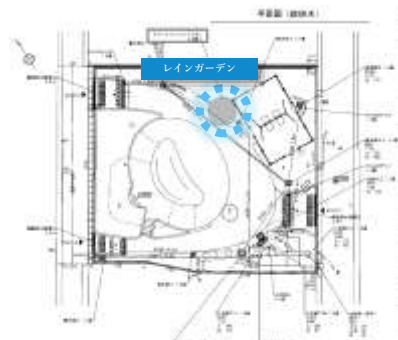
事例 5

区部東部

市区施設

浜川北公園

管理者 品川区
設置日 令和7年2月
所在地 品川区東大井三丁目地内
設置物 レインガーデン



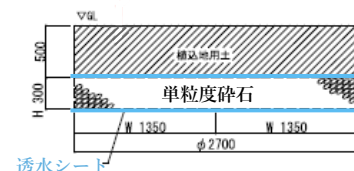
- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 施工時に設置断面の寸法に合わせて用意する透水シートの幅を設定
- 投入する碎石によりシートが引っ張られるため、シートのラップ幅を多めに確保
- シートのハリが均一になるよう、碎石を3層に分け施工場所全体に広がるようにまき出す工夫



- レインガーデン -



- 断面図 -

出典：品川区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

■ 公共施設 ■

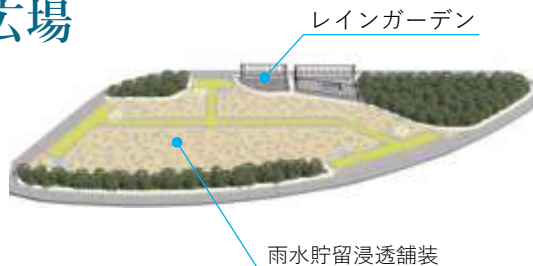
事例 6

区部東部

市区施設

大井町駅西口駅前広場

管理者 品川区
設置日 令和8年2月
所在地 品川区大井一丁目地内
設置物 雨水貯留浸透舗装
レインガーデン



施設の特徴・整備の工夫

- 駅前の交通島に雨水貯留浸透舗装（100mm/h対応）とレインガーデンを整備し、流域対策を行うとともに、区民の流域対策に対する意識の醸成を図る空間を創出



- 施設写真 -

出典：品川区提供

Column

モデル施設を活用した 戦略的広報の展開

〔品川区×東京都×日本興業株式会社〕

大井町駅西口駅前広場の交通島に、グリーンインフラ施設の実装拡大を図るため、東京都、品川区及び事業協力者の日本興業株式会社が連携し、多くの人が観察できるモデル施設を設置した。

本施設では、事業協力者の製品である雨水貯留浸透機能を有するブロック（バリアフリーペイブSI）の機能が分かるように敷設し、雨水が貯留・浸透する様子を確認することができる。



出典：日本興業株式会社提供

Column

啓発パネル展示

品川区では、幅広い年齢層に対して、「グリーンインフラ」に興味・関心を持ち、考えてもらうきっかけづくりとして、基本的な考え方や概念、区内で実際に取り組まれているグリーンインフラについて紹介するパネルを作成・展示している。



出典：品川区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

■ 公共施設 ■

事例 7

区部東部

市区施設

マイガーデン豊町

管理者 品川区
設置日 令和8年3月
所在地 品川区豊町三丁目地内
設置物 バイオスウェル



- 計画平面図 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ マイガーデンの開園に合わせてグリーンインフラ施設の設置を検討
- ・ 新しく植物を植える箇所にバイオスウェルの整備を計画し、マイガーデンの利用者を通してグリーンインフラを普及



- イメージ図 -

出典：品川区提供

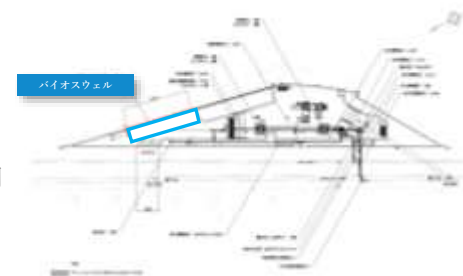
事例 8

区部東部

市区施設

五反田児童遊園

管理者 品川区
設置日 令和8年3月
所在地 品川区東五反田五丁目地内
設置物 バイオスウェル



- 計画平面図 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 公園改修に併せてグリーンインフラ施設の設置を検討
- ・ 公園面積が狭く、傾斜地に位置し高低差もあるため、各構造物とエリアが被らないように植栽メインのゾーンにグリーンインフラを計画



- イメージ図 -

出典：品川区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例 9

区部西部

都施設

明治公園

管理者 東京都建設局
設置日 令和 5 年 10 月
所在地 新宿区霞ヶ丘町五丁目地内
設置物 レインガーデン



施設の特徴・整備の工夫

- 土地の記憶を継承し、渋谷川流域の谷地形を再生
- 新たな谷地形の谷筋に設けたせせらぎは、雨水排水路として機能
- 7,500㎡を超える樹林地「誇りの杜」に降った雨をせせらぎを通して、斜面法尻部に設置した「レインガーデン（雨水浸透緑地帯）」に導水し浸透処理



- 誇りの杜 -
雨水排水路の役割を担う



- レインガーデン -
上流からの雨水を集水する礫層



- 希望の広場 -
広場の地下を砕石層として地下に浸透

- 設置箇所 -

事例10

区部西部

都施設

善福寺川取水施設

管理者 東京都建設局
設置日 令和 7 年 4 月
所在地 杉並区堀ノ内二丁目地内
設置物 レインガーデン、雨水貯留浸透基盤
〔雨水浸透の体験施設、休憩施設等〕

施設の特徴・整備の工夫

- 貯留浸透ブロックや雨庭を設置し、雨水の流出を抑制
- 雨水浸透の体験施設により、雨水流出抑制に対する都民の意識啓発を促進
- 芝生広場の整備により地域の憩いの場を創出



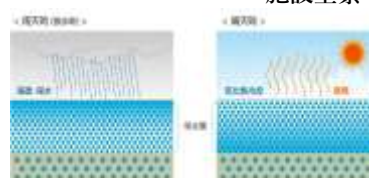
- 施設全景 -



- 体験施設 -



- 太陽光発電と芝刈りロボット -



- 保水性舗装 -



- 透水性舗装 -



- 貯留浸透ブロック -



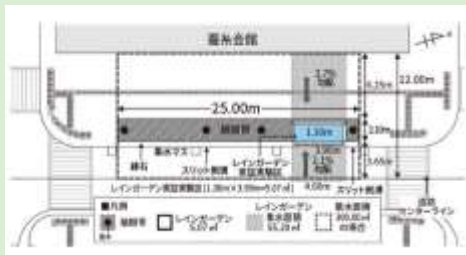
6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

Note

丸の内仲通り

管理者 千代田区
設置日 令和4年5月
所在地 千代田区有楽町一丁目地内
設置物 レインガーデン



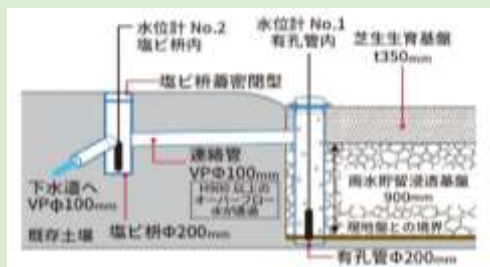
- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 官民でレインガーデンの導入について検討し、道路植栽帯のレインガーデンの実証実験として整備（実験期間：令和4年5月から同年10月まで）
- 現在は区内への展開を検討中



- 整備状況 -



- 断面図 -



- オーナメンタルグラスによる植栽 -

出典：千代田区提供

事例11

区部西部

都施設

高井戸公園

管理者 東京都都市整備局
設置日 令和6年12月（※検証施設）
所在地 杉並区久我山二丁目地内
設置物 レインガーデン（3か所）
バイオスウェル（2か所）



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

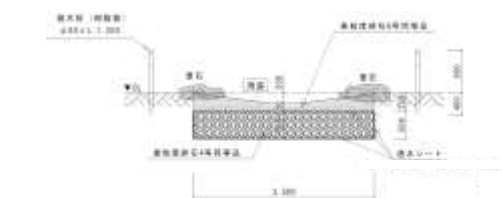
- 武蔵野台地の上に位置し、神田川と玉川上水に挟まれた地域で、住民の水環境への関心が高い。
- 植栽の根付きや維持管理に関する情報を集めるため、施設によって材質を変えて整備



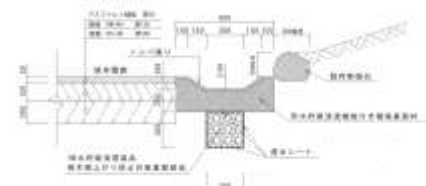
- レインガーデン -



- バイオスウェル -



レインガーデンでは、上層部に植栽用の基盤材にした施設と、砕石にした施設を整備して、違いを観察することとしている。



バイオスウェルでは、表層に芝張りをした区間と、していない区間を設けている。



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例12

区部西部

市区施設

立教通り

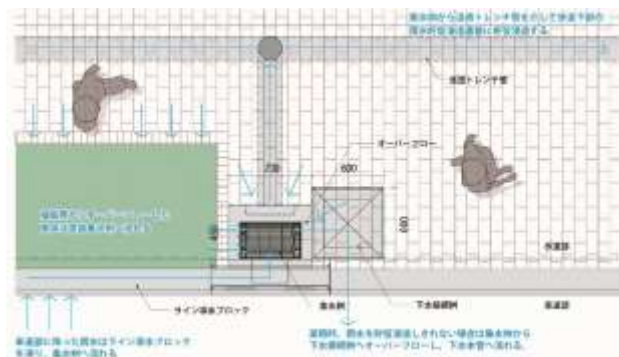
管理者 豊島区
設置日 令和8年11月竣工予定
所在地 豊島区西池袋三丁目地内
設置物 雨水貯留浸透施設



- 整備後イメージ -

施設の特徴・整備の工夫

- 安全性や防災性の改善に向け再整備を進める立教通りにおいて、新たに「環境モデル路線」として位置づけ、雨水貯留浸透施設を設置
- 車道に降った雨をライン導水ブロックで集め、集水枳を通して歩道下の雨水貯留浸透基盤材に貯留。貯留した水は保水性舗装から蒸散され、気化熱冷却効果で温度上昇を抑制



- グリーンインフラシステム概要図 -



- 施工状況 -

出典：豊島区提供

Column

グリーンインフラのまちづくり 「中央区グリーンインフラガイドライン」の策定

中央区では「緑の基本計画」の位置付けの下、「中央区グリーンインフラガイドライン」を令和4年3月に策定した。

ガイドラインでは「水と緑が持つ多様な機能を活用し、ハード・ソフト両面において、持続可能で魅力あるまちづくりを進める取組」として、区民、事業者、団体など様々な立場から地域の魅力向上などを図ることを目的としている。



- 基本方針 -



中央区グリーンインフラガイドラインHP

出典：中央区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例13

区部西部

市区施設

柏の宮公園

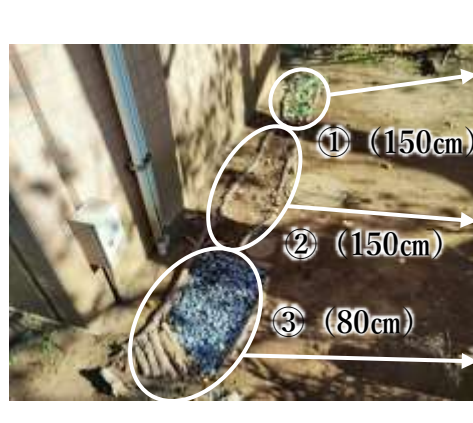
管理者 杉並区
設置日 令和6年12月
所在地 杉並区浜田山二丁目地内
設置物 レインガーデン（5か所）



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 公園内で雨水が浸透しにくく問題視されていた場所への対策をワークショップ『グリーンインフラ杉並区民会議』で検討
- レインガーデンの設置箇所や方向性について区民と話し合い、区民意見やアイデアを反映したレインガーデンと一緒に整備
- 整備箇所ごとの特性を捉え、グリーンインフラ手法を選定



- レインガーデン（C地点） -

④ 堅穴による浸透

穴を掘ったあと、しがら（枝を組んだもの）を敷いた箇所

① 土壌改良による浸透

掘った土に腐葉土や土壌改良材を混ぜて埋め戻した箇所

② 碎石による浸透

穴を掘ったあと、碎石を敷いた箇所

出典：杉並区提供

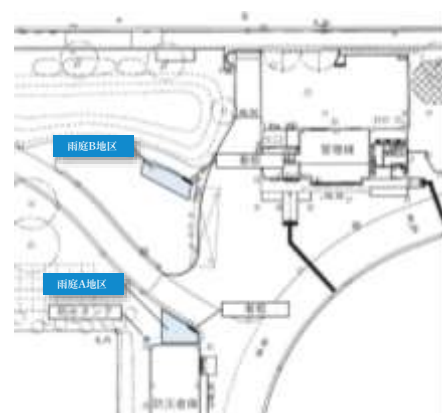
事例14

区部西部

市区施設

桃井原っぱ公園

管理者 杉並区
設置日 令和7年10月
所在地 杉並区桃井三丁目地内
設置物 レインガーデン（2か所）



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 「雨庭づくり体験型ワークショップ」（全3回）において専門家を交え、区民参加により整備
- 公園利用者の支障にならない場所で、かつ、利用者の目につく場所を選定
- 維持管理面を考慮して碎石を主とし、植栽は手のかからない種類を選定
- 日本庭園風のレインガーデンでは、園内の建屋近くを選定し、雨どいから雨水タンクに貯留し、オーバーフロー分をレインガーデンに流す仕組みとし、浸透効果を「見える化」するため、水位計を設置



- 日本庭園風のレインガーデン -



- 区の公式アニメキャラクターをモチーフにしたレインガーデン -

出典：杉並区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例15

区部西部

市区施設

弦巻四丁目松の木鈴木市民緑地

管理者 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
設置日 令和6年11月
所在地 世田谷区弦巻四丁目地内
設置物 雨庭（2か所）

施設の特徴・整備の工夫

- 「世田谷グリーンインフラ学校※1」の演習フィールドとして、参加者と共に半日で敷地内に雨庭を2か所整備
- コンセプトは、個人宅で、市民がホームセンターで購入できる資材を使って、自らDIYでつくれる一坪程度の雨庭
- 日本庭園風の雰囲気や明るい日陰環境を活かした山野草を中心とした植栽
- 宿根草のため、根が張ればローメンテナンスで維持管理が可能
- 緑地保全活動で出た剪定枝を編み込み、雨庭のガーデンエッジとして活用、また竹林で間引いた竹をチップ化し、マルチング資材として再利用



- 雨庭※2 -

【仕組み】

- 雨庭① | 倉庫の縦樋から雨水タンクに一時貯留し、オーバーフローした雨水が雨庭に浸透
雨庭② | 樋がない場所のため、雨は直接浸透

【構造や素材】

- 深さ30cm
- 下層15cm：貯留浸透材(ガラスカレット、碎石、軽石など)
- 上層15cm：玉砂利による仕上げ
※残土は雨庭周辺に盛土し植栽帯とした。

※1：主催 世田谷区、※2：雨庭＝レインガーデン

出典：世田谷トラストまちづくり提供

事例16

区部西部

市区施設

世田谷トラストまちづくりビジターセンター

管理者 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり
設置日 令和5年11月、令和7年11月
所在地 世田谷区成城四丁目地内
設置物 雨庭（2か所）、緑溝、雨庭プランター

施設の特徴・整備の工夫

- 「世田谷グリーンインフラ学校※1」で、講師の指導の下、参加者と共に雨庭を整備
- 事例15と同様に剪定枝や間伐材を再利用
- 令和7年度は、浸透機能の落ちた園路脇のヒマラヤスギ林床の土壌改良として緑溝及び雨庭※2を設置
- 荒れた花壇植栽帯の一部に、底部に貯留浸透材の層をもち、雨水を一時貯留できる雨庭プランターを設置



-世田谷グリーンインフラ学校リーフレット-



- 令和5年度 雨庭※2モデル図 -



- 令和7年度 雨庭※2、緑溝、雨庭プランター -

※1：主催 世田谷区、※2：雨庭＝レインガーデン

出典：世田谷トラストまちづくり提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

■ 公共施設 ■

Note

シモキタ雨庭広場

管理者 世田谷区
設置日 令和4年7月
所在地 世田谷区代沢五丁目地内
設置物 レインガーデン

施設の特徴・整備の工夫

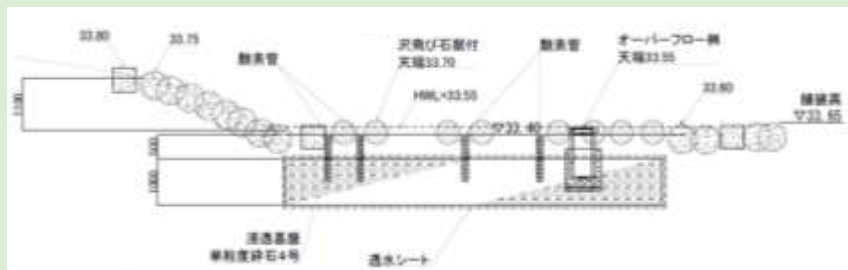
- 小田急線の連続立体交差事業と複数線化に伴う地下化で生まれた跡地を、緑化空間に生まれ変わらせるプロジェクトとして、区及び小田急電鉄が協力して実施
- レインガーデンは、くぼ地状の植栽地で、地下部に雨水を浸透・貯留する砕石層を設け、一定レベルの水位を超えるとオーバーフローますから排水
- 湿性植物や景石を配置し、貯水時も飛び石を歩きながら景色を鑑賞できる。
- 近隣住民に限らず、東北沢から世田谷代田までの全長約2kmが回遊でき、外国人旅行客の利用も見受けられる。



- 設置箇所 -



- 雨庭広場 -



- 断面図 -

出典：世田谷区提供

Column

練馬区のグリーンインフラに関する取組

練馬区では、「練馬区総合治水計画（R2改定）」により、学校や公園等の公共施設の整備に併せて、雨水流出抑制施設の設置を進めている。一定規模以上の開発行為に対しては、雨水流出抑制施設の設置を義務付けるなど、民間における取組も進めており、官民協働による流域対策を図っている。また、「練馬区みどりの総合計画（R5改定）」に基づき、みどりの保全・創出にも取り組んでいる。

雨庭等の新たな取組については、公共施設への導入を検討しており、令和8年度に「練馬区立石神井松の風文化公園」において整備を予定している。



練馬区総合治水計画HP



練馬区みどりの総合計画HP

出典：練馬区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例17

多摩部

都施設

六仙公園

管理者 東京都建設局
設置日 令和4年11月、令和5年3月
所在地 東久留米市中央町三丁目地内
設置物 レインガーデン（2か所）

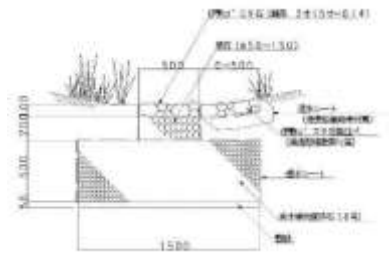


施設の特徴・整備の工夫

- ・ 災害時等の避難広場として防災機能を備えた公園 - 設置箇所 -
- ・ 雨水の地下浸透により、周囲の南沢緑地保全地域や向山緑地公園の湧水涵養に寄与
- ・ 親水空間の広がる落合川及び過去には台風による大きな浸水被害を受けた地域に近く、水環境への住民の関心が高い。



- 遊歩道沿いのレインガーデン -



- 断面図 -



雨は路面に流れ出る前にレインガーデンに浸透



表面流出した水を受け止める溝に白い礫を充填することで、景観的な変化も創出

事例18

多摩部

都施設

武蔵国分寺公園

管理者 東京都都市整備局
設置日 令和7年3月（※検証施設）
所在地 国分寺市泉町三丁目地内
設置物 レインガーデン（5か所）



施設の特徴・整備の工夫

- ・ 野川源流部に近い国分寺崖線上にあり、地下水保全の意識が高い地域 - 設置箇所 -
- ・ 機能の確認に向けて、5か所の全てで形状や材質の組み合わせを変えている。



- レインガーデン1 -



- レインガーデン2 -



- レインガーデン3 -



- レインガーデン4 -



- レインガーデン5 -



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例19

多摩部

都施設

大栗川旧河川敷

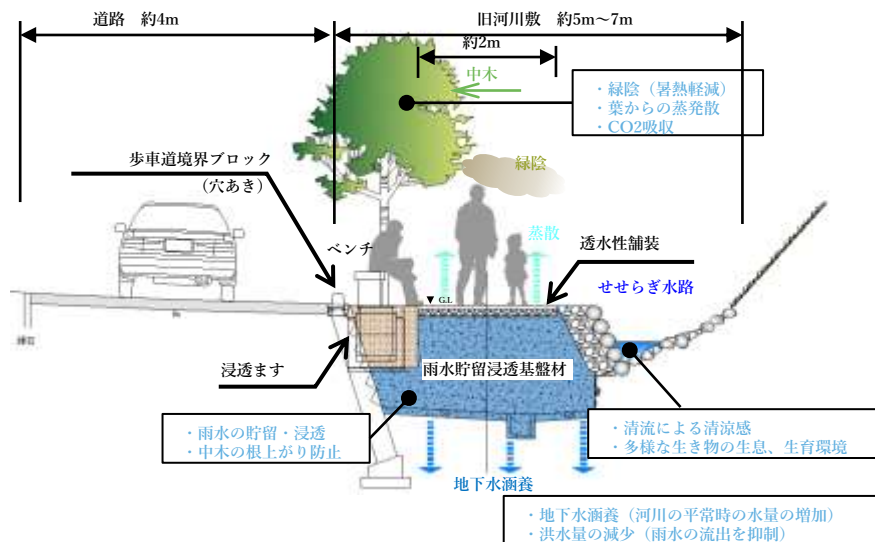
管理者 東京都建設局
設置日 令和8年3月
所在地 八王子市鍵水
設置物 雨水貯留浸透基盤
(植栽、藤棚、休憩施設等)



- ゾーニング (案) -

施設の特徴・整備の工夫

- 雨水貯留浸透基盤材による埋立により、雨水の流出を抑制
- 藤棚、中低木等の植栽整備により気温の上昇を抑制
- 休憩施設整備により地域の憩いの場の創出



- 断面図 (Cゾーン) -

事例20

多摩部

都施設

境川旧河川敷

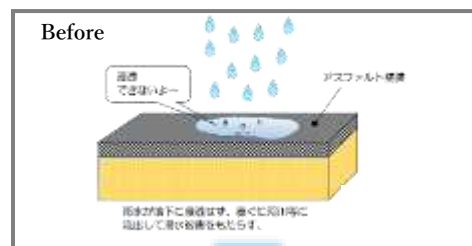
管理者 東京都建設局
設置日 令和5年4月
所在地 町田市森野六丁目地内
設置物 雨水貯留浸透基盤
(植栽、休憩施設等)



- 雨水貯留浸透基盤 -

施設の特徴・整備の工夫

- 境川沿いにある旧河川敷を活用し、雨水の流出抑制や地域の憩いの場となる空間を創出
- 透水性舗装及び雨水浸透基盤材を設置し、雨水の流出を抑制
- 植栽等の整備により気温の上昇を抑制
- 広場空間の整備により地域の憩いの場を創出



- 断面図 -



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例21

多摩地域

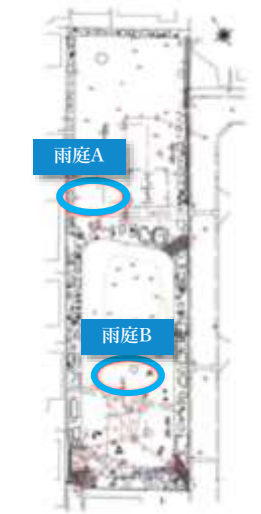
市区施設

みやび青葉公園

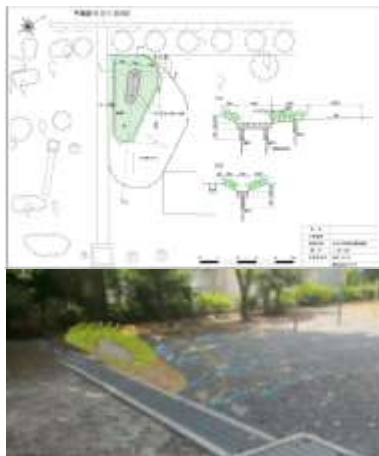
管理者 武蔵野市
設置日 令和8年2月
所在地 武蔵野市吉祥寺北町二丁目地内
設置物 雨庭（2か所）

施設の特徴・整備の工夫

- 内水氾濫リスクが高い地域にある公園内で、雨庭の整備計画を検討し、市民参加型ワークショップで整備
- 表流水が集まる地点に設置することで、効果的に雨水流出抑制
- ワークショップでは、雨庭の整備と併せてグリーンインフラに関する座学も実施



- 設置箇所 -



- 雨庭Aの検討 -



- 雨庭Bの検討 -

出典：武蔵野市提供

事例22

多摩地域

市区施設

調布駅前広場公衆トイレ

管理者 調布市
設置日 令和7年5月
所在地 調布市布田四丁目地内
設置物 雨水貯留浸透施設

施設の特徴・整備の工夫

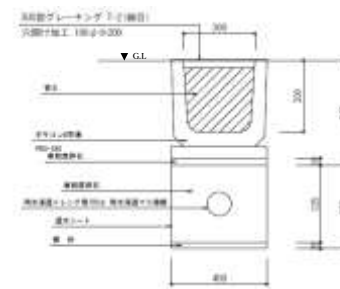
- 調布駅前広場公衆トイレでは、整備方針に「環境にやさしい脱炭素型」を掲げ、雨水の貯留利用等に配慮
- 壁面緑化のみでは大雨時に土が道路上に流れ出るおそれがあったため、雨水浸透も施すことでトイレ利用者に加え、通行人にも配慮
- 合わせて、グリーンインフラとしての機能も向上



- 設置箇所 -



- 現地の様子 -



- 雨水浸透設備断面図 -

出典：調布市提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

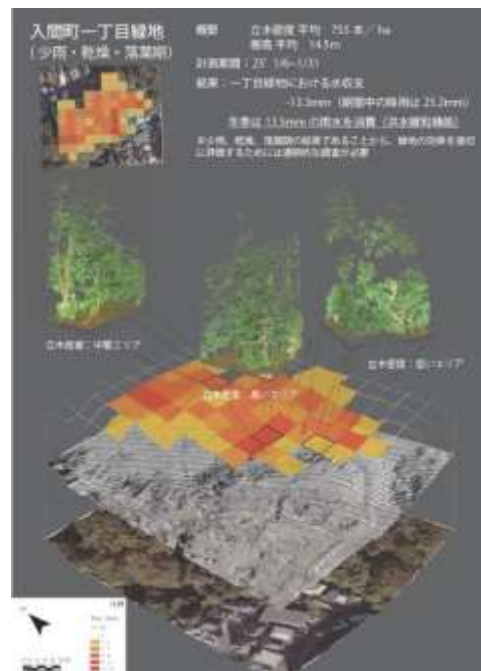
■ 公共施設 ■

Column

崖線樹林地等の グリーンインフラ活用に向けた調査

調布市では、緑が有する機能に着目し、崖線樹林地の持つ雨水の浸透性に着目した雨水流出抑制に資するグリーンインフラの活用可能性について、官民連携によるメカニズム解析を実施している。

【調査結果の内容】



出典: 調布市提供

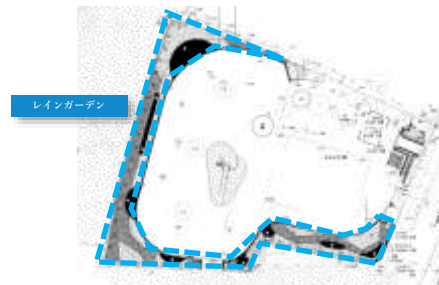
事例23

多摩部

市区施設

白糸台北公園

管理者 府中市
設置日 令和8年3月
所在地 府中市白糸台一丁目地内
設置物 レインガーデン



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 公園の拡張整備で植栽帯にレインガーデンを整備
- 植栽帯以外の公園拡張部分の雨水もできる限り下水道に流さないようにレインガーデンに接続するよう計画
- 雨水貯留浸透部分については、植物の根が混入しづらいように野芝と低木を中心として植栽を計画



- レインガーデン -

出典: 府中市提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

公共施設

事例24

多摩部

市区施設

長池公園

管理者 八王子市
設置日 令和7年12月、令和8年2月
所在地 八王子市別所二丁目地内
設置物 レインガーデン（2か所）



- 雨庭1 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 設置場所は、園路沿いの雨水処理に課題のある場所とし、公園指定管理者及び市内造園事業者を対象としたワークショップで施工
- ・ 工学院大との連携で土壌調査を行い、浸透能力がほとんどないことが判明し、空隙率100%に近い窪地貯留型のレインガーデンを採用
- ・ 園内の湿地に自生するハンノキや草本類を選定し、底面部に植樹。将来的な浸透能力向上が期待でき、観賞の要素も取り入れるなど、雨庭の多面的な機能もデザイン
- ・ 来園者にレインガーデンの仕組みや効果を周知するサインを設置



- 施工図 -



- ワークショップの様子 -

出典：八王子市提供

事例25

多摩部

市区施設

富士森公園

管理者 八王子市
設置日 令和7年3月（雨庭施工日）
所在地 八王子市台町二丁目地内
設置物 レインガーデン（3か所）



- ワークショップの様子 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ スポーツ施設を備え、桜や花火大会などの多くの人に親しまれる市の代表的な公園である富士森公園に設置し、啓発効果に期待
- ・ 使用する材を変えるなど、設置する場所に適した複数のタイプを用意
- ・ 市民を対象としたレインガーデンの維持管理手法に関するワークショップを施工翌年度に開催し、ガーデナーを講師として迎え、土壌ケアやレインガーデンに適した植栽を学ぶ機会を提供
- ・ 実際に維持管理を体験することで、自宅でも実践できるグリーンインフラの視点を養い、理解向上を促進



園路から表流水を導いてしみこませる植栽を施した雨庭（①）

一園路や広場法面からの雨水を導水し貯留・浸透

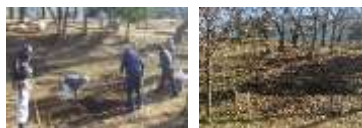


施工過程

竣工

雨水による斜面の土壌と水の流出を抑える雨庭（②）

一粗朶柵による土壌流出抑制と、法面から素掘り緑溝へ雨水を導水し貯留・浸透



施工過程

竣工

法面からの表流水を導いてしみこませる雨庭（③）

一法面からの雨水を貯留し浸透



施工過程

竣工

出典：八王子市提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

民間施設

東京都では、雨水流出抑制に資するグリーンインフラ先行実施事業として、事業協力者を募集し、民間施設におけるあまみずグリーンインフラの導入を進めています。

ここでは、令和7年度に本事業を通じて整備された民間施設のモデル施設として、12施設（19か所）について、紹介します。



株式会社カインズ

	施設名	所在地
1	カインズ 昭島店	昭島市
2	カインズ 青梅インター店	青梅市

ロイヤルホームセンター株式会社

	施設名	所在地
5	ロイヤルホームセンター 南千住店	荒川区
6	ロイヤルホームセンター 足立鹿浜店	足立区

前田建設工業株式会社

	施設名	所在地
10	大妻女子大学 千代田キャンパス	千代田区
11	大妻女子大学 多摩キャンパス	多摩市
12	技術・モノづくりセンター（株式会社タチエス）	青梅市

大和リース株式会社

	施設名	所在地
7	BiVi南千住	荒川区
8	BRANCH 調布	調布市
9	Frespo ひばりが丘	西東京市

株式会社日比谷アメニス

	施設名	所在地
3	東劇ビル 前庭	中央区
4	番町の森	千代田区

※掲載順は事業者募集の応募順



6 あまみずグリーンインフラの事例

■ 民間施設 ■

事例 1～2

株式会社カインズ

民間施設

カインズ 昭島店

設置日 令和7年12月
所在地 昭島市つつじが丘二丁目地内
設置物 レインガーデン

青梅インター店

設置日 令和7年12月
所在地 青梅市新町六丁目地内
設置物 レインガーデン

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 社内勉強会を実施し、住宅外構スケールを想定し、店舗商品で設計を構成
- ・ 施工品質と再現性を確保するため、施工業者による実装例として整備し、植栽は管理負担を抑えるため、宿根草を中心に構成
- ・ 雨水の流出抑制と有効活用を図るため、浸透・貯留層を設けるとともに、（青梅インター店では）雨水タンクを設置し、散水等に活用
- ・ 都市型水害やヒートアイランドへの抑制を説明する看板を設置
- ・ 再現モデルとして、施工業者に依頼する方法と、DIYする方法の提示を予定



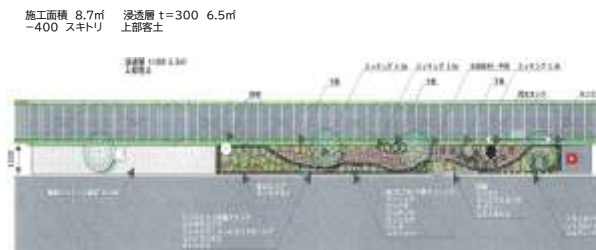
- 説明看板 -



- 昭島店 雨庭 -



- 昭島店 雨庭 -



- DIY雨庭コーナー -



- 青梅インター店 雨庭 -



出典：株式会社カインズ提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

民間施設

事例 3～4

株式会社日比谷アメニス

民間施設

東劇ビル前庭

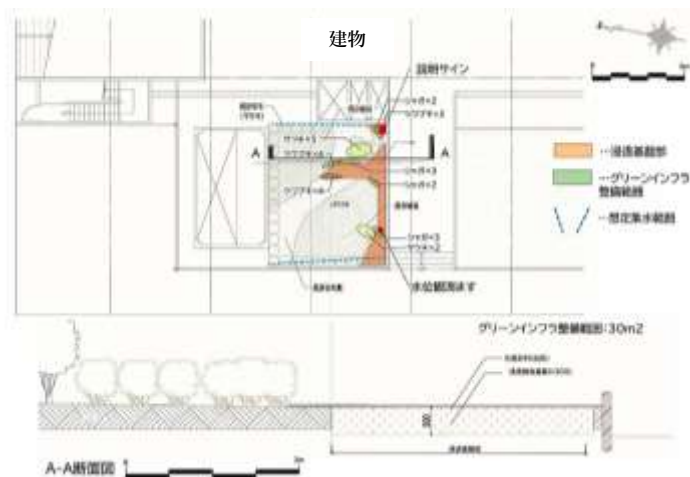
設置日 令和7年9月
所在地 中央区築地四丁目地内
設置物 レインガーデン



- レインガーデン -

施設の特徴・整備の工夫

- 施設利用者が日常的に利用する場所でグリーンインフラの啓蒙に適しており、緑地全体を集水範囲とし下流部にレインガーデンを整備
- 乾燥・湿潤を繰り返すレインガーデンに適した在来種を選定し、既存植栽との景観になじむ植栽とし、貯水状況が分かる水位観測ますを設置
- 施設利用者の目に留まりやすい高さに説明用看板を設置



- 竣工図 -

番町の森

設置日 令和7年9月
所在地 千代田区二番町地内
設置物 レインガーデン（2か所）



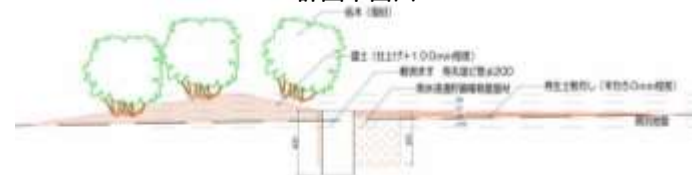
- レインガーデン -

施設の特徴・整備の工夫

- 日本テレビ所有の地域に開かれた広場の排水性に課題のある箇所にレインガーデンを整備し、子供にも分かりやすい説明用看板を設置
- 乾燥、湿潤を繰り返すレインガーデンに適した在来種による植栽とし、貯水状況が分かる水位観測ますを設置



- 計画平面図 -



- 標準断面図 -

出典：株式会社日比谷アメニス提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

民間施設

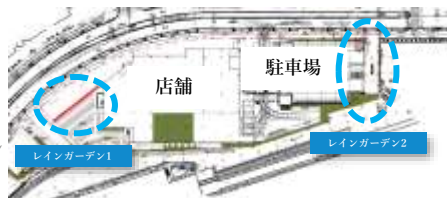
事例 5~6

ロイヤルホームセンター株式会社

民間施設

ロイヤルホームセンター 南千住店

設置日 令和7年10月
所在地 荒川区南千住四丁目地内
設置物 レインガーデン、
雨水貯留浸透層とレインガーデン
の組合せ



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

- 集中豪雨時の駐車場等の冠水を改善するため、雨水貯留浸透層を設置
- 近隣住民や来客にレインガーデンを見てもらい、自宅等でも実践してもらえるように、店舗販売資材も使用した施設を整備



- レインガーデン 1 -



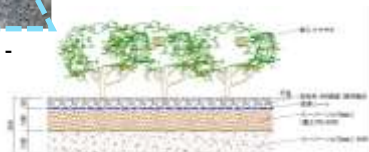
- 冠水時 -



- 雨水貯留浸透層 -



- レインガーデン 2 -



- レインガーデン 2 断面図 -

ロイヤルホームセンター 足立鹿浜店

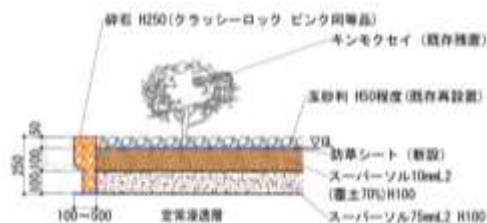
設置日 令和7年10月
所在地 足立区堀之内一丁目地内
設置物 レインガーデン



- 設置箇所 -

施設の特徴・整備の工夫

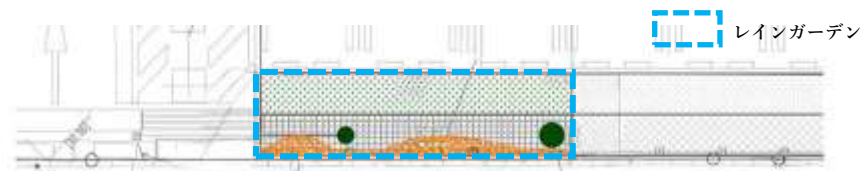
- ホームセンターで購入可能な資材を使用し、レインガーデンを整備
- 既存植栽を活用し、家庭でも実施しやすい内容として構成



- 断面図 -



- レインガーデン -



- 平面図 -

出典：ロイヤルホームセンター株式会社提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

■ 民間施設 ■

事例 7～9

大和リース株式会社

民間施設

BiVi 南千住

設置日 令和7年11月

所在地 荒川区南千住四丁目地内

設置物 レインガーデン（2か所）
雨水貯留プランターと保水性舗装の組合せ



- レインガーデン -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 既存植栽帯の景観と利用者動線を考慮し、レインガーデンを整備
- ・ 人通りの多い通路の下にある植栽帯全面をレインガーデンとすることで、雨水を最大限集水する計画
- ・ 保水性の高いインターロッキングを選定し、打ち水効果による路面表面温度の上昇を抑制する。設置の容易な雨水貯留型プランターにより雨水を貯留し、植物のかん水として利用

BRANCH 調布

設置日 令和7年10月

所在地 調布市深大寺東町七丁目地内

設置物 レインガーデン



- レインガーデン -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 整備前の植栽帯の景観を保ったまま、土壌層のみをレインガーデン仕様に整備
- ・ 施設の排水計画を考慮して、より効果的な場所での雨庭を計画

Frespo ひばりが丘

設置日 令和7年10月

所在地 西東京市谷戸町二丁目地内

設置物 レインガーデン



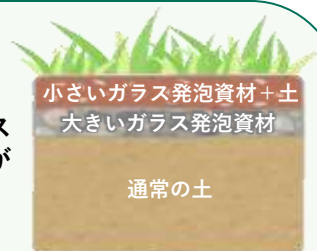
- レインガーデン -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 再設置が難しい高木は残したまま、植栽帯の土壌をレインガーデンへ入替え
- ・ 既存樹木の根回りにガラス発砲材をスポット的に入れ、雨水浸透貯留を促すだけでなく、根に酸素を供給し、既存樹木の樹勢にも貢献するものとして整備

設置した雨庭の特徴

「大きいガラス発砲資材の層」と「小さいガラス発砲資材+土の層」により、雨水の貯留と植物が育つ環境の両立を実現



■ 雨庭の整備工程



既存土壌すき取り



大きいガラス発砲資材の層



小さいガラス発砲資材+土の層



植栽の植え付け

出典：大和リース株式会社提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

■ 民間施設 ■

事例 10～12

前田建設工業株式会社

民間施設

大妻女子大学 千代田キャンパス

設置日 令和7年11月
所在地 千代田区三番町地内
設置物 レインガーデン



- 説明看板 -



- 改修後 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ キャンパス内の「つまっこ広場」をレインガーデンとして改修
- ・ 集中豪雨時に水があふれるため雨水貯留浸透効果の機能を有するパーマヴォイドシステムを埋設

大妻女子大学 多摩キャンパス

設置日 令和7年11月
所在地 多摩市唐木田二丁目地内
設置物 レインガーデン、
雨水貯留浸透機能を有する緑化舗装
(2か所)



- 花壇部 改修後 -



- 舗装道路部 改修後 -

施設の特徴・整備の工夫

- ・ キャンパス内の花壇をレインガーデン、アスファルト舗装道路(2か所)を緑化舗装として改修
- ・ 集中豪雨時に水があふれるためパーマヴォイドシステムを埋設

技術・モノづくりセンター (株式会社タチエス)

設置日 令和7年11月
所在地 青梅市末広町一丁目地内
設置物 レインガーデン、雨水貯留浸透機能を有する緑化舗装

施設の特徴・整備の工夫

- ・ 技術・モノづくりセンターの花壇をレインガーデンとして、来客用駐車場を緑化舗装として改修
- ・ 集中豪雨時に水があふれるためパーマヴォイドシステムを埋設
- ・ このシステムは、雨水を貯蔵し、毛細管現象^{かんがい}で灌漑する無電力水管理システムで地球温暖化対策、集中豪雨・洪水対策及び水資源活用に効果
- ・ 本体は85mmと薄く掘削できない箇所に有効であり、WBGT値が下がる実験結果もあることから熱中症対策としても期待



- 花壇 改修後 -



- 駐車場 改修前 -



- 駐車場 改修後 -

出典：前田建設工業株式会社提供



7 あまみずグリーンインフラ検討委員会

検討委員会の活動

東京都では、雨水流出抑制に資するグリーンインフラの効果や、実装に向けた進め方を検討するため、学識経験者等による「あまみずグリーンインフラ検討委員会」を令和6年8月に設置し、検討を進めています。



検討委員会での議論の様子

委員との活動の様子



大島小松川公園の注水試験の様子

効果の検証



グリーンインフラ メディアツアー

マスコミ関係者等への取組紹介



東部低地における取組事例（墨田区多門寺）

地域特性に応じた取組の視察



千葉県（印旛沼流域水循環健全化会議）

他行政機関等への取組紹介

検討委員会の委員からのコメント

（五十音順）



朝日ちさと 東京都立大学都市環境学部 教授

気候変動時代の都市では、環境と経済がより手をつなぎ、防災や健康、well-beingを実現することが大切です。グリーンインフラによって、水循環や生物多様性など都市では見えにくい自然の価値が、日々の経済・社会活動に生かされることを願っています。



屋井裕幸 公益社団法人雨水貯留浸透技術協会 常務理事

あまみずの貯留や浸透の様子を身近に感じられる“あまみずグリーンインフラ”は、誰でも参加できる雨水対策です。都市の防災と水の循環を守るため、力を合わせて広めていきましょう。



笹川みちる 特定非営利活動法人雨水市民の会 理事

雨を邪魔者にせず、まちづくりに取り込むのが「あまみずグリーンインフラ」です。その手法には、私たち一人ひとりが楽しみながら参加できるものがたくさんあります。これからのまちの雨のゆくえを一緒にデザインしましょう。



二瓶泰雄 東京理科大学 創域理工学部 教授

全国各地で大雨や酷暑などの異常気象が日常となる現代では、「あまみずグリーンインフラ」はとても必要な技術と対策です。企業や市民の皆さんが活用したくなる技術となるよう、都の取り組みに期待しています。



福岡孝則 東京農業大学地域環境科学部 教授

「自然と共生する社会づくり」のために、グリーンインフラを活かしたまちづくりという視座が重要になります。庭や公園など身の回りの小さな自然から、地域の水やみどりなどの再生成をつうじて、共に未来のまちづくりに取り組んでまいりましょう。